



2021年2月10日

各位

会社名 株式会社ミズホメディー  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 唐川 文成  
 (コード番号：4595 東証第二部)  
 問合せ先 取締役経理部長兼総務部担当 佐々木 寛  
 (電話番号：0942-85-0303)

**2020年12月期通期業績予想値と実績値との差異  
 及び配当予想の修正に関するお知らせ**

2020年11月9日に公表しました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします、

また、同日に公表しました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の期末配当予想につきましても、下記のとおり修正しますので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 2020年12月期 通期業績予想値と実績値との差異(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年11月9日公表)	4,254	235	234	165	17.41
実績値(B)	4,205	416	415	306	32.16
増減額(B-A)	△49	180	180	140	—
増減率(%)	△1.2	76.9	77.1	84.7	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	6,427	1,111	1,111	874	91.80

(2) 差異の理由

第4四半期(10月～12月)の売上高につきまして、インフルエンザ検査薬は、当事業年度内にはインフルエンザの流行の兆しが現れず、前年同期の10%程度と前回予想(前年同期の30%程度)を下回りました。その他の感染症項目につきましては、新型コロナウイルス感染症が再拡大するなか、検査薬の需要回復は引き続き緩やかであり、予想どおり(前年同期の50%程度)に推移しました。

一方、「スマートジーン新型コロナウイルス検出試薬」につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響もあり、前回予想(9万テスト程度/10月～12月)を上回り、約13万テストを出荷し、インフルエンザ検査薬の減収分を補う結果となりました。

売上高は上記のとおり前回予想をわずかに下回ったものの、主に経費全般にわたる節減の効果及び売上高構成の変化の影響等により、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、前回予想を上回る結果となりました。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 2020年12月期配当予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年11月9日公表)	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 6.00
今回修正予想	—	10.00	10.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2019年12月期)	0.00	29.00	29.00

### (2) 修正の理由

当社は、業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定する方針を採っております。この方針に基づき、配当性向30%を目標として配当を実施するよう努めております。

2020年12月期の期末配当予想につきましては、上記方針及び本日公表の2020年12月期の業績結果を踏まえ、1株あたり6円から4円増額し、10円に修正させていただくことといたします。

なお、本件は、2021年2月22日開催予定の取締役会の決議をもちまして、2021年3月26日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上